

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜本巣特別支援学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和5年6月22日(木) 13:30~15:30
- 3 開催場所 岐阜本巣特別支援学校 西体育館
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者

	会 長	山田 孝治	北方町商工会副会長			
	副会長	森 久子	本巣市主任児童委員			
	委 員	神山 弘彦	西秋沢自治会長			
		松本 和久	岐阜聖徳学園大学教授			
		牛丸 真児	瑞穂市社会福祉協議会 福祉総合相談センター主任相談支援専門員			
		橋本 民子	本巣市障害者基幹相談支援センター「えがお」 主任相談支援員			
		板倉 寿明	愛知淑徳大学講師 (欠席)			
		清水 美典	希望が丘こども医療福祉センター相談支援専門員			
		藤田 佳正	本校PTA会長 (欠席)			
		名知 由利香	本校PTA副会長			
	学 校 側	神戸 茂	校長	新沢 幸美	事務部長	
		牧村 貴志	教頭	寺井 聡	教頭	
		栞原 正美	小学部主事	原 和代	中学部主事 (欠席)	
		瀬下 裕基	高等部主事	永井 久江	教務主任	
- 5 会議の概要(協議事項)
 - (1) 学校運営協議会の主旨説明
 - (2) 令和5年度 学校運営の基本方針について
 - (3) 令和5年度 各学部経営の重点について
 - (4) 学校と地域、関係諸機関との連携
 - 令和4年度の高等部における進路概況について
 - 作業製品価格の検討について

(5) 運営協議会委員の意見

委員 1 : 商工会で何かできることがあれば協力したい。教職員の姿からは、「児童生徒のために」という気持ちが伝わってくる。働き方改革の機運の高まりやコロナ禍という状況をチャンスに変えて前に進むとよい。第 3 回の会議では、今年度の取組みについて、よい成果報告を期待する。

委員 2 : 特別支援学校と地域とのつながりを深めたいので協力したい。是非声をかけてほしい。本校を訪れると元気な挨拶を聞くことができたり、素敵な作品を見ることができたりして気持ちがよい。

委員 3 : 見学した高等部 1 年生の校内作業実習では、生徒たちはあきらめず根気よく行っている。対価のない作業であるが、生徒の頑張りが評価される仕組みを考えるとよい。以前、本校が行っていた喫茶サービスもできるようになるとよい。地域に住んでいるので、今後、地域の人達が学校に足を運べるよう手伝いたい。

委員 4 : 生徒が校内作業実習に一生懸命取り組んでおり能力も高い。指導がしっかりされている。また、朝会・終礼の廃止、出退勤システムの利用等といった本校の働き方改革についての取組みは、社会福祉協議会においても参考にしたい事柄である。

委員 5 : 本校が開校以来大切にしていることが分かった。それを具現化し、児童生徒自身の学びに落とし込んで意識できるよう心掛けてほしい。例えば、「協力」とは具体的にどうすることなのか、「集中」とは何か、「時間いっぱい取り組む」とはどういうことか、その意味内容を、児童生徒と共有し、児童生徒自身が、自らの頑張りを認めることができる教育を実践するとよい。

委員 6 : 新型コロナウイルス感染症対策が変わり、昨年と大きく状況が変わった。例えば、職員室のパーテーションがなくなり、連携がとりやすくなったと感じる。高等部において、校内作業実習に取り組む生徒の姿はすばらしい。「即戦力になれる」と感じた。教職員の姿勢を児童生徒がよく見ているので、挨拶もしっかりできている。仲間と交わることで学び合う姿はよい。

委員 7 : 小学部では、無邪気で可愛らしい児童の学ぶ姿が見受けられ、中学部では、活動に対して意見を交わすことで生きる力を身に付けてきていることが見て取れ、高等部では、集中して意欲的に校内作業実習に取り組むことで、社会人になっていく姿がうかがわれた。授業参観を通じて、児童生徒の成長を感じることができた。

委員 8 : 高等部の校内作業実習では、一人一人が集中し、目標に向かっている姿に感動した。子どもを預けて安心して卒業まで指導してもらえる。

6 まとめ

- ・第 1 回学校運営協議会では、出席した 8 名の全委員より、今年度の本校の学校運営基本方針について承認が得られた。
- ・作業製品については、提案のとおり、出席した委員全員から価格の承認を得た。
- ・新型コロナウイルスへの対応が変化し、校内見学で児童生徒の学習に向かう生き生きとした姿を参観することができた。体験的な活動が、児童生徒の成長や豊かな生活に結び付くという観点から、それぞれの立場から協力できることは是非したいという意見が多く得られた。今回、得られた貴重な意見や助言を、職員会議等で周知するなどして、今後の学校運営に活かしていきたい。